

## 第2回 UDAC セミナー



TOHOKU  
UNIVERSITY

# ゲノムバリエントと表現型との関係を 分子構造情報でつなぐデータサイエンス

2022

12/9

FRI

16:30-18:30

ハイブリット(対面+オンライン)開催



講師

土方 敦司

東京薬科大学生命科学部  
准教授

**会場** 東北大学青葉山キャンパス  
レジリエント社会構築イノベーションセンター  
大会議室(306)

**対象者** データ科学に興味のある大学院生・教職員  
(GP-DS 及び AIQDS の受講学生を含む)

近年のゲノム塩基配列解析技術の飛躍的な向上によって、個人レベルでのゲノム配列情報が急速に蓄積しており、大規模ゲノムデータは、ゲノム医療など個人の健康や効果的な医薬品の開発などへの活用が期待されている。しかしながら、ゲノムに書き込まれた情報の全てを理解したとは言えない。例えば、個人ゲノム間の差異がどのように疾患などの表現型と結びついているのかを説明することは難しい場合が多い。本講演では、我々がこれまでに行なってきた、タンパク質の高次元の分子構造データに基づく遺伝子疾患関連バリエントによる疾患発症の分子メカニズムの理解を目指した研究の紹介をするとともに、ゲノムバリエントの情報と個人の表現型とをどのように結びつけていくのかについても議論したい。

参加申込み

右記QRコードまたは下記WEBサイトよりお申し込みください。

<https://forms.gle/NVeiVK3ZXXF7dw4k6>



申込×切

12/8

THU

お問い合わせ ● 未踏スケールデータアナリティクスセンター 教授 山田和範  
✉ [yamada@tohoku.ac.jp](mailto:yamada@tohoku.ac.jp)



東北大学  
未踏スケールデータアナリティクスセンター  
Unprecedented-scale Data Analytics Center, Tohoku University

主催 ● 東北大学未踏スケールデータアナリティクスセンター  
<https://udac.tohoku.ac.jp>